

学校経営推進費 事業計画書

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学科生徒の中退率の減少と卒業率の上昇 ・生徒向け学校教育自己診断の共生推進に関する項目の肯定感の上昇 ・共生推進教室生徒アンケートにおけるクラス一斉授業の理解度の上昇 ・共生推進教室の生徒全員の企業就労
計画名	「MOVE! 樟風ーインクルーシブ教育システム構築プロジェクト」 ～スーパー・インクルーシブ・ルームの創設～

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	<p>(1) 共生推進教室でインクルーシブ教育を実践する 共生推進教室教育の充実を図り、共生推進教室生徒の成長を促すとともに、「ともに学び、ともに育つ」をコンセプトに学習活動や部活動、学校行事等においてインクルーシブ教育を実践する。 ※生徒向け学校教育自己診断の共生推進に関する肯定感の平均を毎年3ポイント以上にし、平成30年度には70%以上の肯定感をめざす。</p>		
事業目標	<p>(R) 本校に共生推進教室が設置されて11年になるが、その間、施設等の学習環境は全く変わっていない。そこで、総合学科の生徒と共生推進教室の生徒が一斉授業で自らを表現し、ともに高め合うインクルーシブ教育の学習環境を構築する。 (P) 総合学科の生徒及び共生推進教室の生徒のコミュニケーション能力や社会性を高めるため、ユニバーサルデザインの「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を創設し、学習環境を整備する。 (D) 「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を活用して、プレゼンテーションなど自分を表現する授業を数多く実践することで相互理解を深め、「ともに学び、ともに育つ」インクルーシブ教育を実践していく。また、教職員の特別支援教育に関する専門性の向上をはかる。 (C) 「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を活用して、総合学科生徒の共生推進教室に関する肯定感を毎年5%ずつ上昇させるとともに、共生推進教室生徒の一斉授業における理解度を上昇させる。 (A) 公開授業や研修等を通じて、大阪発「ともに学び、ともに育つ」インクルーシブ教育の実践を広く発信し、インクルーシブ教育の充実を図っていく。</p>		
取組みの概要	導入・整備する 設備・物品	<p>共同学習用の机20、椅子40、講義卓セット、スクリーン他インフィル3面、 視覚支援教材（簡易教材提示装置、個人用タブレット3台、ノートパソコン、ブルーレイプレーヤー、 プロジェクター等）、聴覚支援教材（アンプ、スピーカー、マイク等）、</p>	
	取組内容	前年度	<p>4月、生徒の事例報告会を通じてアセスメントを共有し、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成した。 5月、特別支援教育に関する教職員研修を行い、教職員の特別支援教育に関する専門性の向上をはかった。 8月、府立高校における支援教育フォーラムで軽音楽部と共生推進教室の生徒が実践報告を行った。 2月、人権文化発表交流会で、軽音楽部と共生推進教室の生徒が舞台発表を行い、同時に展示も行った。</p>
		初年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を創設する（～9月）。 ・「スーパー・インクルーシブ・ルーム」の活用に関する教職員研修（9月） ・「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を活用しての視覚支援や共同学習、アクティブ・ラーニングなどの授業実践（10月～） ・「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を活用しての公開授業月間を設ける（11月） ・「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を活用して、系列別校内総合学科発表会を実施する（2月）。
		2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を活用して、視覚支援や共同学習、アクティブ・ラーニングなどの授業を実践する。（4月～） ・「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を活用して、教職員の特別支援教育に関する専門性向上のための教職員研修（基礎編）を行う（1学期）。 ・他府県からの見学を受け入れるなど、大阪発「ともに学び、ともに育つ」インクルーシブ教育を全国に発信していく。（4月～） ・「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を活用しての公開授業月間を設ける（11月） ・「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を活用して、系列別校内総合学科発表会を実施する（2月）。
	3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を活用して、視覚支援や共同学習、アクティブ・ラーニングなどの授業実践を発展させていく。（4月～） ・「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を活用して、教職員の特別支援教育に関する専門性向上のための教職員研修（応用編）を行う。（1学期） ・他府県からの見学を受け入れるなど、大阪発「ともに学び、ともに育つ」インクルーシブ教育を全国に発信していく。（4月～） ・「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を活用しての公開授業月間を設ける（11月） ・「スーパー・インクルーシブ・ルーム」を活用して、系列別校内総合学科発表会を実施する（2月） 	
取組みの 主担・実施者	<p>主担者：「インクルーシブ教育システム構築プロジェクト」メンバー （校長、教頭、首席、共生推進教室コーディネーター、人権教育推進委員長） 実施者：全教職員が授業で実践</p>		
成果 と評価 の検証 指証 方法	初年度	<ul style="list-style-type: none"> ①総合学科生徒の中退率を平成27年度の1.8%から1.6%以下にする。 ②総合学科生徒の卒業率を平成27年度の85.8%から90%以上にする。 ③生徒向け学校教育自己診断の共生推進教室に関する肯定感を平成27年度の58.6%から65%以上に上昇させる。 ④共生推進教室生徒の一斉授業の肯定感を100%にする。 ⑤共生推進教室の生徒全員の企業就労を毎年継続する。 	
	2年目	<ul style="list-style-type: none"> ①総合学科生徒の中退率を1.4%以下にする。 ②総合学科生徒の卒業率を93%以上にする。 ③生徒向け学校教育自己診断の共生推進教室に関する肯定感を70%以上に上昇させる。 ④共生推進教室生徒の一斉授業の肯定感を100%にする。 ⑤共生推進教室の生徒全員の企業就労を毎年継続する。 	
	3年目	<ul style="list-style-type: none"> ①総合学科生徒の中退率を1.2%以下にする。 ②総合学科生徒の卒業率を95%以上にする。 ③生徒向け学校教育自己診断の共生推進教室に関する肯定感を75%以上に上昇させる。 ④共生推進教室生徒の一斉授業の肯定感を100%にする。 ⑤共生推進教室の生徒全員の企業就労を毎年継続する。 	

学校番号

1005

3. 事業費

事業費総額	5,609,107	円
-------	-----------	---

積算内訳

科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1							
	2							
	3							
								小計
2 旅費	1							
	2							
	3							
								小計
3 消耗需用費	1	多目的スタックテーブル				¥27,000	22	¥594,000
	2	ミーティングチェア				¥5,400	44	¥237,600
	3	システムパネル1 単立				¥32,184	1	¥32,184
	4	システムパネル1 連立				¥29,700	5	¥148,500
	5	システムパネル2 連立				¥24,408	2	¥48,816
	6	ブルーレイディスクプレーヤー				¥16,200	1	¥16,200
	7	無線対応機器				¥48,600	3	¥145,800
	8	簡易教材提示装置				¥36,720	1	¥36,720
	9	ワイヤレスパワードスピーカー				¥86,400	1	¥86,400
	10	ワイヤレス送信機				¥52,272	1	¥52,272
	11	ワイヤレスマイクロホン				¥32,508	1	¥32,508
	12	有線マイク				¥21,600	1	¥21,600
	13	オーディオ・ビデオマトリックススイッチャー(制御システム)				¥54,000	1	¥54,000
	14	HDMI→VGAコンバーター(制御システム)				¥3,240	1	¥3,240
	15	タブレット(端末装置)				¥47,520	3	¥142,560
							小計	¥1,652,400
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
								小計
5 役務費	1							
	2							
	3							
								小計
6 委託料	1							
	2							
	3							
								小計
7 使用料 及び賃借料	1							
	2							
	3							
								小計
8 備品購入費	1	ノートパソコン(入力機器)				¥140,400	1	¥140,400
	2	電子黒板機能超単焦点プロジェクタ(出力機器)				¥162,000	2	¥324,000
	3	超短焦点プロジェクタ(出力機器)				¥132,840	1	¥132,840
	4	クリツカー(出力機器)				¥410,400	1	¥280,000
	5							
							小計	¥1,007,640
9 工事請負費	1	壁面他塗装工事				¥454,267	1	¥454,267
	2	スクリーン他インフィル材料費				¥1,620,000	1	¥1,620,000
	3	インフィル施工費				¥777,600	1	¥777,600
	4	搬入費				¥97,200	1	¥97,200
							小計	¥2,949,067
10 負担金・補助 及び交付金	1							
	2							
	3							
								小計
							合計	¥5,609,107